

就労支援部会 報告書

会議名	第2回 就労支援部会		
開催日時	令和5年3月3日(金) 14時~15時30分		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室A		
出席者数	7名(代理1名、欠席3名)	傍聴者数	なし

報告事項(3件)

議題名	板橋区障がい者就労支援ハンドブック2023(素案)について		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援事業所連絡会にて作成を進めてきた。素案を報告する。 ・今回のハンドブックは、企業向けとして作成してきた。ルビを振っており、見づらいという意見もあるが、今後、振り返りの中で整理していきたい。 ・初年度500部印刷し、各移行支援事業所に50部程度配布する。 		
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の区民が触れる資料になるのであれば、ルビがあった方がよい(事務局) ・当事者向けであれば、わかりやすいものを作成したうえでルビを振るべき。 ・当事者向けのものでないため、今回はルビありで進め、ゆくゆくは企業向け、当事者向けと整理していければ良いのではないか。 		

議題名	障害者総合支援法改正に伴う障害者の多様な就労ニーズに対する支援及び障がい者雇用の質の向上の推進について		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正に伴い、就労に関する内容を報告する。 ・内容は、「就労アセスメントの手法を活用した支援の制度化」「短時間労働者に対する実雇用率算定」「障害者雇用調整基金等の見直しと助成措置の強化」 ・詳細が分かり次第、適宜、情報を共有する。 		
主な意見・質問	<p>■「就労アセスメントの手法を活用した支援の制度化」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型について、本来、就労アセスメントは、就労移行支援事業所で行うこととなっているが、コロナ禍により、ここ3年間は特別支援学校で行ってきた。コロナの状況も落ち着いてきたため、今後、順次本来の形に戻す予定。3年ぶりとなるため、新たな課題等見えてくると思う。(福祉事務所委員からの補足) ・現在、ご家族や本人からの連絡を待っている状況。このまま待っているだけでよいのか。 →2月末までに連絡するよう伝えているが、遅れている該当者もいる。これから最終確認をとっていくため、まだ連絡していない者については、福祉事務所から連絡する。 ・アセスメントシートとはどのようなものか。 →就労に当たり必要な項目を挙げ、チェックするもの。現在の書式は、過去の就労支援部会で作成しており、3日程度の就労体験を通して人物を評価している。評価をみるのは、行政・学校・家庭。実習により見えた課題を共有し、進路を決めていく。 ・都内各就労支援センターとの話の中でも、アセスメントがテーマの一つとしてあがる。一般的な相談も含め、23区で書式もやり方も異なっている状況。 ・就労選択支援について、実質的にどう機能するのが見えない。支援を希望する方がいるのかという疑問。(我々就労移行支援事業所は)人の人生に影響を与える仕事。実 		

	<p>際にやるのであれば、それなりの実効性が必要と考える。このような場を借りて、議論が必要。就労支援のアセスメントは区により大きな差があることもどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労選択支援により区ごとの異なる点が解決できればいいと思う。 ■「短時間労働者に対する実雇用率算定」 ・多摩で開催されたセミナーにて、厚労省の課長が「枠は広げるが、20時間でいいよ」という話ではなく、「20時間に満たないために雇用率算定に含められず、苦勞している事業所向けに作った制度」という意味だと話していた。 ・本人にとってもメリットだが、企業にとってもメリットがある。 ・制度として悪用しようと思えば、そのように使ってしまう。
--	--

議題名	第8期 就労支援部会の活動報告について
概要	・令和3～4年度、当部会で行ってきた活動をまとめたため、報告する。
主な意見・質問	・ハートワークで実施しているカフェ「こすもす」について、実習生の引き受けを再開した。また、料理の値段を下げ、Wi-Fi環境も整え、利用しやすくしている。

協議事項(1件)

議題名	民間企業における障がい者雇用 Web アンケート等調査結果について
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年8月19日～同年9月9日にかけて、区内民間企業に対して Web アンケートを実施したため、その調査結果を報告する。 ・回答数は35社と少なかったが、回答からは有益となる傾向が見受けられた。
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・数は少なかったが、障がい者雇用に前向きな企業があることを知れたということでも、実施して良かったと思う。 ・調査結果で気づかされることがあった。雇用経験がない中小企業が、雇用への関心が強いと見受けられる。その関心は、不安感からくるものかもしれない。そのような企業にアプローチし、業務の切り出し等の提案ができれば障がい者雇用が進んでいくと考える。ハローワークだけでなく、就労移行支援事業所が提案していくことも一つの手である。 ・回答された企業への次のステップがあるとよい。 ・回答数が少ないのは仕方がないが中身は深い。ハローワークは行政指導が対象となる大企業がメイン。中小企業はしごと財団が行っている。企業の不安感、ハローワークが持っている情報と同じだと感じた。私たちも何らかの形で支援できたらと思う。
協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回答された企業へのアプローチ方法を確認し、障がい者雇用に関与できない課題の掘り下げ等を検討する。